令和元年度含蜜糖製造工程合理化開発に係る

委託業者選定企画提案仕様書

沖縄県黒砂糖協同組合

１　委託業務の名称

　　　令和元年度沖縄製糖業体制強化対策事業（含蜜糖製造工程合理化開発支援事業）

２　目的

　　　含蜜糖製糖工場において、人員が多く配置されている製造工程における箱詰充填作業の自動化及び合理化に向けた機械装置を開発することにより、労働力の削減を図り、製糖業の効率的、持続的な製糖体制の確立に資する。

３　含蜜糖製造工程合理化開発支援事業の全体計画

　　　波照間製糖工場において、黒糖製造工程の中で人手がかかっている「仕上濃縮缶から出てきた黒糖、一定量（２～３ｋｇ）を充填冷却し、３０㎏ダンボールに詰める作業」の自動化機械設備への検討をし、製造工程の合理化を図る。

　　　（別添「黒糖製造工程における箱詰・充填作業工程」参照）

４　令和元年度業務内容

　　　令和元年度は、平成３０年度に開発した自動計量成形装置（一定量２～３ｋｇのブロック成形）の改良設計、製作、波照間製糖工場までの輸送、据付及び試作機による黒糖ブロックの定量性、成形性、離型性及び連続性等の確認試験業務及び箱詰充填に向けた提言を行うこととする。

５　予算額（令和元年度事業費）

　　　本業務（令和元年度事業分）に係る予算は、１９，７１３，０００円以内（消費税を含む）とする。この範囲内で、自動計量成形装置の開発に向けた効率的かつ効果的な企画とすること。

　　　※予算額は、企画提案のために提示する金額であり、契約金額ではない。

６　令和元年度実施期間

　　　契約締結日～令和２年３月１９日までとし、当該年度の取組業務完了予定とする。

　　　（契約締結後、１４日以内に着手届を提出する）

７　開発試作機の設置場所

　　　波照間製糖株式会社波照間事業所（製糖工場）

　　　沖縄県竹富町字波照間４１８番地

８　開発業務の中間報告等について

　　　沖縄県黒砂糖協同組合が必要に応じて、当該事業等について「調整会議」等を開催する場合は、前記４の業務内容の進捗状況について報告すること。

９　事業実施報告

　　　令和元年度沖縄製糖業体制強化対策事業（含蜜糖製造工程合理化開発支援事業）

　　実施報告書を電子データ（ＣＤ－ＲＯＭ、または電子メール）で１部提出する。

10　その他留意事項

1. 受託者は、業務遂行にあたって委託者と連携して行わなければならない。
2. この仕様書に定めのない事項、又は疑義が生じた場合は、委託者と受託者の双方が協議して定めるものとする。
3. 本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の委託契約の仕様書とは異なる場合も想定される。また、実施段階においても諸事情により変更することがある。
4. 企画提案書は、審査会で採択された場合においても、提案のあった内容をすべて実施することを保証するものではない。